

架空線等接近警報システム

架空線等損害事故防止補助用品

こんなときに効果を発揮します

架空線等(信号機、標識等上空物)がある場所での作業で

- ・オペレータが作業に集中し架空線等を忘れてしまったときに…
- ・夜間作業で架空線等が見えにくいときに…

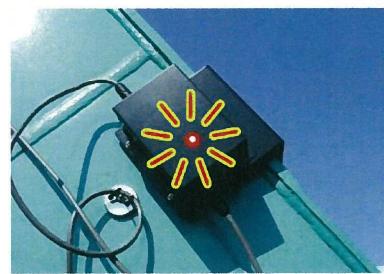
設定角度を超えると
音と光(LED)
で警報



警報 LED 〈光(LED)で警報〉



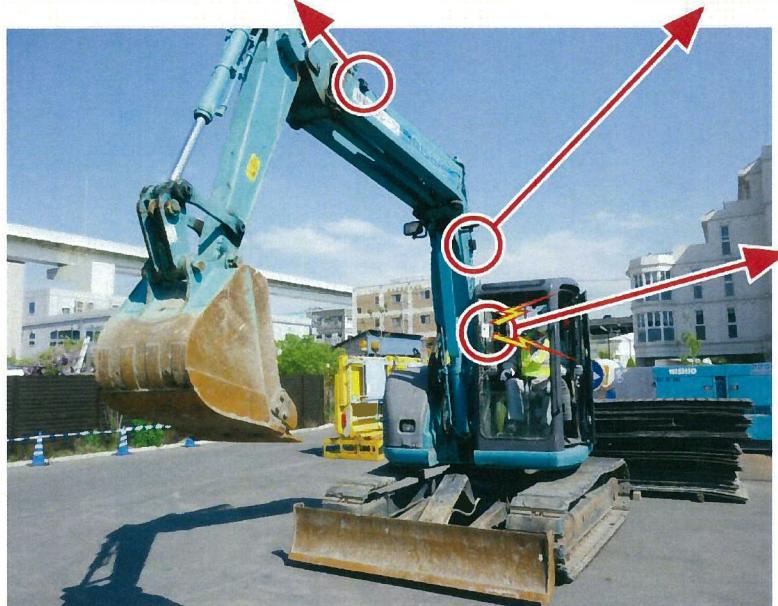
通常時
警報時



傾斜検出センサー 〈光(LED)で警報〉



通常時
警報時



コントローラ
〈音と光(LED)で警報〉



通常時



警報時

■特徴

- 機種を問わず、簡単に取付け可能
- コントローラにより警報角度を自由に設定可能
- 傾斜検出センサーは、水平に対しての絶対角度であり、地盤や機体の傾きに無関係
- 音と光(LED)により警報
- センサーをセットしている状態を外部からも確認可能
- 音量は大・小・消音の3段階で設定可能

夜間や住宅地など警報音を出したくない場合、コントローラの光(LED)とヘルセンサー(オプション)により警報

株式会社 山栄産業

取付け、操作は簡単

- ① 運転席にコントローラ、ブームに傾斜検出センサーを取付け、接続ケーブルで接続
- ② 警報LEDをブーム先端部に取付け、ケーブルを傾斜検出センサーに接続
- ③ コントローラの電源を確認し、角度設定ボリュームを「高」の位置にセット
- ④ センサー設定スイッチを「入」側にし、警報したい角度にブームを上昇
- ⑤ コントローラの角度設定ボリュームを警報が始まる位置まで回転
- ⑥ 警報が止まる境界部まで角度設定ボリュームを戻し、警報が始まる側へ微調整

これで設定は完了

※架空線等の無い場所で、警報確認をしましょう

仕様

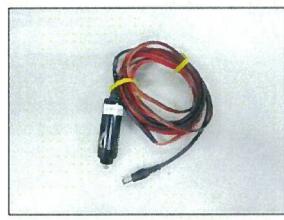
・傾斜検出センサー	耐水、耐振動、耐スパークノイズ 検出（絶対角度） 1° 単位（最大120°） スピーカー出力 大 80dB、小 65dB、消音 赤外線照射 160°（最大2m～2.8m） 耐水、耐風、耐モータノイズ 連続使用時間 16時間
-----------	--



ヘルセンサー

基本セット

・コントローラ	固定金具、マグネット付き ニッケル水素電池
・内臓充電池	
・内臓充電池用充電器	
・傾斜検出センサー	固定金具、マグネット付き
・警報LED	固定金具、ケーブル4m、取付けマグネット8個付き
・センサー接続ケーブル	延長4m、取付けマグネット8個付き
・アルミケース	



シガーソケットケーブル

オプション

・振動子付きヘルセンサー	ヘルメットに取付け、音と振動で警報 コントローラからの赤外線照射に対応
・ヘルセンサー用充電器	
・シガーソケット用ケーブル	延長2m



ヒューズソケットケーブル

注意事項

このシステムは、あくまで**補助用品**であり、接触防止を確保する本質安全機構ではありません。

警報後、オペレーターの操作停止までの**空走距離（上昇）**を考慮し、警報角度を設定してください。

作業場所、警報対象物の高さなど**作業環境**が変わったら、再度**警報角度**を**設定**してください。

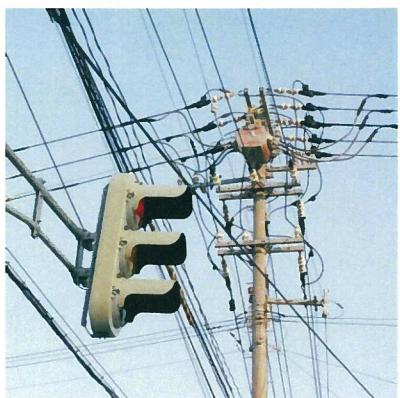
購入日より1年保証

〈製造、販売〉

株式会社山栄産業

〒359-1145 埼玉県所沢市山口1211-10
TEL 04-2939-2577

架空線等接近警報システム ～架空線等損害事故防止補助用品～



本装置は、作業中のオペレーターにバックホウのブームが上空の障害物（電線・信号機）に接近した事を「ブザー音」と「光」で警報する安全補助装置です。作業中、オペレーターはどうしても刃先に視線が集中してしまい上空の障害物に気が付かない場合があります。そこで本装置は、事前に設定した危険な高さまでブームが上昇すると、その傾きをセンサーが検出してオペレーターに警報し事故を未然に防止します。

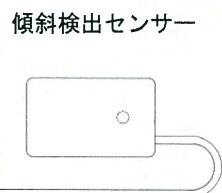
【特徴】

- 1 : 絶対角度で検出。
- 2 : 使いやすい。
- 3 : 簡単に取り付け。
- 4 : 「振動」で警報も可。

機体とブームとの傾きではなく、水平面での傾きを検出します。（図3を参照。）

警報位置はコントローラの調整ボリュームで自由に設定できます。

基本は充電池で動作するので面倒な電源の取り出し作業がなく現場で短時間に機体に取り付けることが出来ます。（オプションでシガーソケットから取り出しあります。）オプションのヘルセンサーを使用するとオペレーターに「振動」で警報することができます。（図2）



「音」と「振動」
で2重警報。

ブブツ
ブルブル



図1

図2

オペレーター

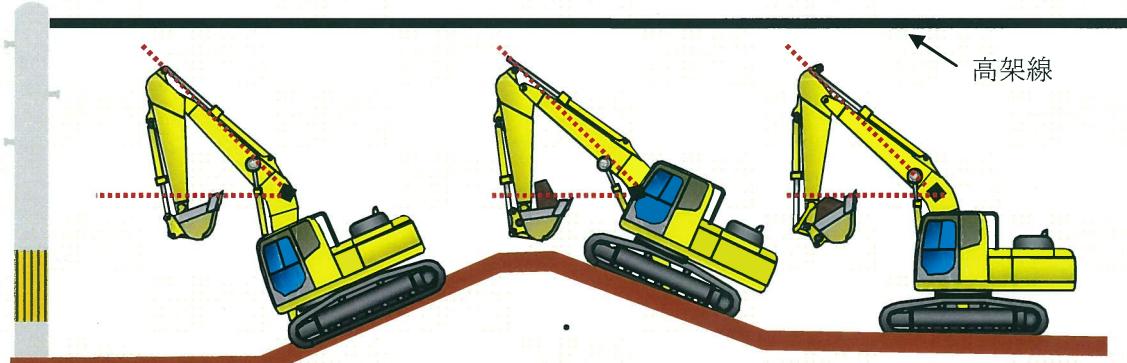


図3：機体が傾いた状態でも、常に一定の高さで警報します。

本装置は、事前にOP自身が危険を予測して傾斜を設定するのでKY運動にも繋がります。